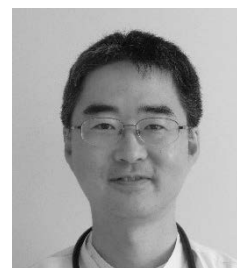


# 家庭医療専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに

皆さんにとって、後期研修先を選ぶ時にいちばん大切にしたいことは、何でしょうか。私にとっての答えは、いかに「医師としてのやりがい」を感じられるかであり、その源泉は「そこにいる人達に必要とされていること」と「医師として研鑽を積み、成長できる環境があること」だと思います。



どの科もすべて、患者さんのためにあります。ですが患者さんの求めるものは多種多様であり、その全てに一人に対応できる医師はいません。総合診療もその一つですが、自分の守備範囲を超える問題に出会った時に最初から「当科的な問題ではない」と扉を閉ざすのではなく、患者さんのそばで話をまず聴き、それを解決可能な形に明確化し、必要であれば他の人の力(他科の医師だけでなく、時には他の医療・介護・福祉職の方であったり、家族や患者さん自身であることもあります)を借りて、ともに解決法を探していく。「時に癒し、しばしば支え、常に慰む」という言葉がありますが、そうした醍醐味を最も患者さんの近くで味わうことができるのが総合診療であり、そのためのノウハウは手術や検査などの技術と同じように、適切な指導のある環境でトレーニングを積むことにより初めて磨かれるものです。

私にそうした多種多様な訴えに対応する必要性と面白さを教えてくれたのは、自治医大卒業生として派遣されていた地域での医療でした。地域では医療資源などが限られる中で問題解決していかなくてはならない難しさもありますが、病院の中とは比べ物にならないほど生き生きと生活している人々に触れたり、人々のつながりのありがたさ、自らの手で地域そのものをより良くできるといった病院での研修とは違った視点を持つことが出来ます。ふじのくに家庭医/総合診療後期研修プログラムでは、温暖な気候・温厚な住民気質を誇る静岡県内で、長年にわたりそれぞれの地域で信頼されてきた施設が東から西まで集まっていますので、そこで研修ではじっくり地域医療の魅力に触れて頂きます。もちろん地域でも十分に役割を果たせる医学的素養を磨くために、県内随一の症例数を誇る静岡県立総合病院などで幅広い科の研修を受けて頂きます。

次は、皆さんの番です。医師人生の中で重要な一歩となる後期研修で、私たちは精いっぱいのお手伝いをさせていただきます。そしてここで身につけたことは、どこに行っても、どんなに時代が変わっても必ず役に立つことを信じています。

プログラムリーダー 静岡県立総合病院 救急科医長 牧 信行

## 2 目的

家庭医(総合診療医)とは、決して「何でもできる医師」でも「専門をもたない医師」でもありません。「既存の専門科の枠にとらわれず、置かれた立場に応じて自らの役割を変えていける医師」、もっと簡単に言えば「『当科的に問題ありません』といって診療を断ることのない医師」が家庭医だと考えています。

より具体的には、日本プライマリ・ケア連合学会の家庭医専門医・認定医の行動目標(図1)、日本専門医機構の総合診療専門医の6つのコアコンピテンシー(表1)、および研修修了時に提出するポート

フォリオの項目(表2)に、家庭医・総合診療医として目指すべき目標が明示されています。これらは制度の違いによりある程度表現が見直されていますが、基本的な方向性は変わりません。ですので、3年間の研修期間中にこれらを全て経験し、家庭医・総合診療専門医としての基本的な素養を身につけて頂くことが当研修プログラムの中心的な目標になります。

### 3 特 徴

当プログラムは静岡県で初めて伊豆・駿河・遠江の三国にわたる広い地域のそれぞれで地域医療を支えてきた9施設が一致団結して作成され、次の4つを「売り」としています。

#### 1) 県庁所在地(政令指定都市)の基幹病院から、地域第一線の中小病院、診療所まで

基幹施設である静岡県立総合病院は全ての専門科が揃っており、「搬送される側」として症例の経過を最後まで見届けることができ、希望に応じた領域別研修が受けられます。一方総合診療I等で選択できる連携病院・診療所は、いずれもそれぞれの地域に密着し長年信頼されてきた施設です。

#### 2) それぞれの立場で多彩な教育環境を提供

有名な「西伊豆早朝カンファレンス」をはじめ、基幹病院での専門各科からのレクチャー、佐久間病院等での地域住民・他の医療・福祉職員も巻き込んだ勉強会などが行われており、日本プライマリ・ケア連合学会の静岡支部会や中部ポर्टフォリオ発表会等を通じて、静岡県内ないし中部地区の他のプログラムとも積極的に情報交換をおこなっていきます。

#### 3) 天の恵み、地の利、人の和

温暖な気候と豊富な海の幸・山の幸(お茶とみかんだけではありません!), 関東にも中京・関西にも日帰り可能な交通の便の良さ, 温厚な住民気質でクレームの少ない医療が可能, そして健康寿命(2012年)は男性2位、女性1位を誇ります。

#### 4) 自治医大・地域卒卒業生が義務年限中に研修可能

他県に頼らず、あくまで静岡県内の施設だけで構成されたプログラムであり、静岡出身の自治医大・地域卒卒業生が義務年限中に派遣される公立・公的病院を多く含んでいます。このため義務年限中の研修・専門医取得が可能であり、新制度でもこの特色を継続すべく県庁とも緊密に連携していきます。何より、医師として大切なのは「ここにいる人達に、必要とされていること」と、「医師として研鑽を積み、成長できる環境があること」ではないでしょうか。静岡は家庭医の教育という面で先進的な地域ではありませんでしたが、それだけに今後の家庭医の活躍への期待は大きく、今後は家庭医養成のために全県的に協力しようという機運はかつてなく高まっています。ぜひ一人でも多くの皆様に静岡に来ていただけますよう、お待ちしております。

当プログラムは初期研修を修了した、卒後3年目以降の医師を対象にした3年間の後期研修プログラムです。

- 1年次修了時には、総合診療医の役割・研修全体の流れを理解し、外来・病棟・救急の現場で必要に応じ他の専門科・専門職と連携しつつ、患者の評価およびマネジメントに主体的役割を果たすことを目標とします。
- 2年次修了時には、地域で医療資源が限られた中での家庭医に期待される役割と限界を理解する

とともに、病院外他施設や福祉・行政との連携や地域志向アプローチについても実践することを目標とします。

- 3年次修了時には、それまでの研修の過不足を調整するとともに、多疾患合併など複雑な健康問題を有する例、訴えが曖昧で評価困難な例にも的確なマネジメントを提供すること、初期研修医の教育や臨床研究にも取り組むことを目標とします。
  - 3年間の研修の修了判定には以下の3つの要件が審査されます。
    - 1) 定められたローテーション研修を全て履修していること
    - 2) 専攻医自身による自己評価と省察の記録、作成した最良作品型ポートフォリオを通じて、到達目標がカリキュラムに定められた基準に到達していること
    - 3) 研修手帳に記録された経験目標が全てカリキュラムに定められた基準に到達していること
- 様々な研修の場において、定められた到達目標と経験目標を常に意識しながら、同じ症候や疾患、更には検査・治療手技を経験する中で、徐々にそのレベルを高めていき、一般的なケースで、自ら判断して対応あるいは実施できることを目指していくこととなります。

#### 4 研修カリキュラム

各認定施設の総合診療専門医修練カリキュラムに即して指導します。

#### 5 研修例

##### 研修の週間計画および年間計画

基幹施設(静岡県立総合病院)

救急科(総合診療専門研修Ⅱ・救急研修)

	月	火	水	木	金	土	日
8:15~9:00 朝カンファレンス							
9:00~9:30 朝回診							
9:30~12:00 救急外来							
9:30~12:00 病棟業務							
12:00~16:30 午後外来							
12:00~16:30 病棟業務							
16:30~17:15 夕回診							
17:15~ clinical jazz/ CbD/ SEA(第1, 3週) mini-CEX 振り返り(第2週) 360° 評価フィードバック/ journal club(第3週)							
8:30~17:15 兼任研修							
平日当直(1回/週)、土日の日直・当直(1回/月)							

## 内科

	月	火	水	木	金	土	日
8:30～12:00 病棟業務							
12:00～17:15 病棟業務							
8:30-12:00 午前外来							
12:00～17:15 午後外来							
16:30～19:00 症例検討会							
17:00～19:30 症例検討カンファレンス							
16:00～17:00 病棟回診							

## 小児科

	月	火	水	木	金	土	日
8:20～8:30 朝カンファレンス							
8:30～9:30 朝回診							
9:30～12:00 外来							
9:30～12:00 病棟業務							
13:00～16:00 外来							
13:00～16:00 病棟業務							
16:00～17:15 夕回診							
17:15～ カンファレンス(1回/週)							
17:15～ 勉強会(1回/月)							
8:30～17:15 兼任研修							
当直(1～2回/月)							

## 6 研修病院群

伊東市民病院、伊豆今井浜病院、伊豆赤十字病院、西伊豆健育会病院、トータルファミリーケア北西医院、静岡県立こころの医療センター、公立森町病院、浜松市国保佐久間病院